

府高退教通信

NO.266

発行
〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町七一十一
府教育会館7F 大阪府高教内
大阪府立高等学校
退職教職員会

TEL 090-1227-5142 (末光)
FAX 06-6768-1675

維新の会の「無償化」を どう見るか 府高教委委員長 志摩毅

吉村知事は、「完全無償化」を喧伝し、公立

第一に、制度が実施されても、平均20万円の入学金、制服代、指定物品代、修学旅行代などは残り、授業料もいったん納めてから段階的に撤廃するつもりです。保護者負担の軽減につながるという点では、私たちの要求と合致するものであり評価できます。しかし、高校教育に与える影響として見ると、額(63万円)を超える部分では学校が負担し、総選挙を前に「完全無償化」の語に固執する維新の思想が教育を歪めていきます。第三に、これによって、「定員」を理由にした府立高校つぶしがさらに加速するのは明らかです。公私を競わせ、府立高校を統廃合、私学教育を歪める維新の会の教育施策の転換が求められます。

秋の散策のご案内

11月24日(金)

集合：午前10時

解散：午後3時

京阪宇治線宇治駅

京阪宇治線三室戸駅

山本宣治ゆかりの地と源氏物語宇治十帖史跡めぐり、紅葉を楽しみます。

(小雨決行) 疑わしい場合の連絡先は、寺西文夫(070-1457-2853) 笹岡優光(090-3944-3733)

九月来て猛暑日続く夕立という言葉すら久しく聞かず 菅原正義

台木から伸びた蔓先いつの間に得体の知れぬ 正重哲美

己生えのカボチャのなんとたくましい蔓も葉も花も野性が匂う 高橋貞雄

実り秋生物の糧どっさりと思ってくれる地水 池永孝

陽感謝 至言なり労組つぶしは結局は企業自体の疲弊を招いたと 川上憲一

デイの日はすこしやつして百日紅バター焦がしの菓子持ちて行く 瓜生野

願わくは君と隣りて月を見んブルームーンの今宵この時 鈴木晋司

うちわ持ちボクにも貸してと言う四年生明日の見守りうちわ持たなきや 月岡秀夫

この夏の危険な暑さ恐ろしく保冷剤にてわが身を守る 佐々木有馬

抗がん剤打てど広がると友が言う黙って聞きことばを探す 山尾邦子

川崎康樹さんが、「随想 古今集を読んでいる」を上梓されました。府高教書記局にありますのでどうぞお求め下さい。

第239回「短歌を楽しむ会」は12月11日(月)午後2時、府教育会館ななめ横ガット・ネロにて。12月4日(月)までに左記宛てに、いずれかの方法でお送り下さい。作者名を明記して下さい。

〒590-0143

堺市新櫛尾台3-3-13-403

外山安隆

tel: fax 072-299-7064

高校つぶし反対署名へのお礼と 大軍拡・大増税反対のボイスアクション(はがき) のご協力を!

府高退教幹事長 末光章浩

85名の府高退教会員の皆さん、高校つぶし反対署名にご協力ありがとうございました。

11月6日現在756筆は昨年を大きく上回る到達です。まだ、手元にある署名は、今からでも送付ください。随時、大阪の高校を守る会を通じて府教委に提出します。

また、大軍拡反対のはがきは20通(11月6日現在)を超えておりますが、この取り組みは始まったばかりです。12月末を目途に取り組みを強めます。

我々の今後の潤いある生活を守り、子や孫を含む次世代社会のために



も、大軍拡・大増税にもとづく「戦争する国づくり」は何としてもストップさせねばなりません。12月には、東京で全退教主催の集会や、来年1月通常国会開会に合わせ記者レクやはがき提出を予定しています。

また、送付された会員のメッセージは随時、退教通信に掲載します。まだ、提出されていない会員のみなさん、是非ご協力ください。

第236回府高退教「短歌を楽しむ会」(2023・9・11)

多くの会員の皆さんから、今回の府立高校募集停止問題についての怒りの声が寄せられました。その一部を紹介します。

今回の工業系4校の募集停止案について

吉田信夫(今宮工)

1. 非教育的で

非科学的な募集停止

先ず基本的に、定員割れになったから募集停止をすることそのものが、地域性や教育の充実を考えない非教育的であること、現状の中でただ数をあわせるという非科学的な計画であることを指摘したいと思います。

子どもたちの成長に必要な高校教育の充実のために教育的、科学的に計画を立てるべきである。

そのためには、その一つとして、1クラスの定員を減らし、行き届いた教育をすることを前提に

地域的に可能な限り公平な高校数の在り方を検討すべきだと考えます。それによってある程度の統廃合は必要としても、充実した教育環境を作るためには学校を少なくするのではなく学級数を減らさず、クラス定員をへらすことが必要であると考えます。

2. 経済を支える

底辺を崩す

特に工業系の高校を無くすことは、まさに日本の経済を物づくりで支えてきた、底辺を崩すものです。特に大阪は中小の物づくり企業が支えてきたことを無視する考えのない対応です。資源の少ない日本の宿命、「物づくりで経済を支える」ための職業高校の在り方をしっかり考えるべきです。府の審議会の工業部会



成長に大きな支障をきたすと考えます。

そのためには、高校における技術・職業教育を、将来を見越して根本から検討する必要があると思います。

4. 教育内容充実のため

教育内容の充実のためというのであれば、

一つは、クラスの人数を減らし、これまでの教員数で分厚い教育ができるようにすること。各クラスのクラス数は先ず、1クラスの生徒数は20名位にすべきではないでしょうか。

一つは、教員の専門分野と力量には限界があり、幅広い技術の内容を教えるには、現在のようなくラス規模では教員数が少なく教育内容を深めることができないと思います。特に機械系は内容の幅が広く、クラス人数を減らし1校で3〜4クラス規模にすべきだと思います。電気科、建築科でも2から3クラス規模がいいと思います。

一つは、特に専門的な技能は、経験深い技術者を一定期間講師として配置することがいいのではないのでしょうか。工業系高校の教育内容を充実させ、企業がより以上にその必要性を認める状況を

作ることが必要ではないでしょうか。府内における配置を考えるとでは機械科と電気科を設置する学校、建築科とデザイン科を設置する学校を4地域に配置することで、現状の生徒数規模で工業系の技術教育ができる、魅力ある、社会にも認められる、工業系高校を再生することが必要ではないでしょうか。

林俊恵(今宮工)

2人だけの署名ですが、10月末が集約期限という事ですので、返送します。維新の政治って、本当にひどいですね。今後も署名活動を続けられると思います。ですが、卒業生などに声をかけますのでもう少しはご協力できると思います。

渡辺悼郎(高石)

高校つぶし反対署名に地域でとりくみ、10名程度は何とか集めていました。10月8日(日)、大阪市生野市民センターホールで行われた「IO・8夢洲IRカジノ大阪府民公聴会」に参加し、周りの人に署名をお願いしたら、アツという間に自分で立てた目標30名が完了しました。もっと署名用紙をたくさんコピーしてもっていった方がよかったのに...とも思いましたが、まあ、当初目標をやりきることができたので早速幹事長に送付したということ。 「府民公聴会」には政府国土交通省からも大阪府知事・市長・IR推進局からも「都合がつかない」と言っ

て誰も出席はありませんでしたが、藤永のぶよさ



当面の日程

- 【11月】
 - 11月19日(日)14:00 九条の会・おおきか 講演会エルおおきか 南館5Fホール
 - 11月24日(金)10:00 秋の散策 京阪宇治線宇治駅集合
 - 11月24日(金)14:00 シャンソンを楽しむ会
- 【12月】
 - 12月4日(月)13:30 謡を楽しむ会 茶臼山画廊
 - 12月8日(金)14:00 シャンソンを楽しむ会 ガットネロ
 - 12月11日(月)14:00 短歌を楽しむ会 ガットネロ
 - 12月15日(金)12:40 憲法宣伝 上六交差点
 - 12月15日(金)14:00 第341回府高退教幹事会 府教育会館70号室